



◆自然湖（しぜんい）

昭和五十九年、「長野県西部地震」の際土石流が流れ込み、王滝川の流れがせき止められてできた湖です。

今でも立ち木が残り、毎年季節を問わず、絵を書く人や写真を撮る人が多く訪れます。

この自然湖では、誰でもすぐに乗れるカヌーを漕いで、歩くことでは味わえない風景を見ながら森林浴を楽しむツアーも開催されています。



冬の自然湖

アクセス方法

〔自家用車〕

中央自動車道中津川IC↷国道十九号線
 經由約一時間五〇分、長野自動車道塩尻IC
 C↷国道十九号線經由約一時間五〇分

◆清滝（きよたき）

御嶽山の三合目付近（田の原へ向かう途中）に「清滝（きよたき）」と「新滝（しんたき）」があります。清滝は高さ三十メートル、古くから滝行が行われることで知られています。昔、御嶽山に登るには「百日精進潔斎」（百日間修業をし、身を清める）をおこなわなければ、登拝は許されないと厳しい伝統がありました。

今でも、夏になると滝にうたれる信者さんの姿を見かけることがあります。冬になるとこの滝は、水の柱となり、ライトアップされると氷の青さに目が奪われます。

また、新滝は滝の裏側からも見ることができるところから、「裏見滝」とも呼ばれています。



氷の柱となった清滝

アクセス方法

〔自家用車〕

中央自動車道中津川IC↷国道十九号線
 經由約一時間五〇分、長野自動車道塩尻IC
 C↷国道十九号線經由約一時間五〇分

◆木曾へ泊まる

平成二十六年九月二十七日に御嶽山が突然噴火し、多くの登山者が犠牲となりました。その影響で現在、王滝村を訪れる方が大幅に減少し、旅館業やサービス業は大きなダメージを負っています。

平成二十七年一月十九日に、これまでの火口から半径四キロ圏内としてきた警戒の必要な範囲を三キロ圏内に変更となり、「おんたけ2240スキー場」も二月下旬の開業に向けて準備を進めています。



開業準備が進むおんたけ2240スキー場

本スキー場は例年、ゴールデンウィークまで営業をしています。このほかの木曾地方のスキー場も雪が多く快適に楽しめます。

是非、木曾地方に足を運んでいただ

き、「木曾のそば」、「木曾牛」、「すんき漬け」などの地元ならではの美味しさを味わってみて下さい。また、木曾地方にある五つの酒蔵で仕込まれた日本酒も絶品です。

さらに、お帰りには、「そば饅頭」などのお菓子類や木曾の厳しい環境で育った木曾ヒノキ、天然サワラの木製品をお土産にしていただけたら幸いです。



木曾の地酒とすんき漬け



そば饅頭と木製品